

山口情報芸術センター開館 5周年記念事業：特別企画展

YUDA ART PROJECT (湯田アートプロジェクト)

2008年11月21日(金)–12月27日(土) 会場：湯田温泉地区各所

10:00–22:00(作品によって公開時間が異なります) 鑑賞・参加無料

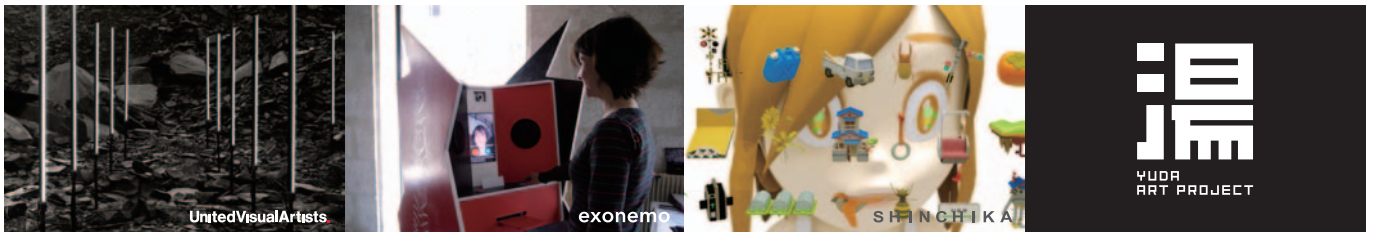


YCAMから湯田温泉の街へ、アートが飛び出す！

温泉街を舞台に、YCAMプロデュースによる観客参加型作品を展示します。

山口情報芸術センター[YCAM]では、開館5周年を記念し、山口市・湯田温泉の街を多彩なメディアアートで彩る展覧会「YUDA ART PROJECT」を開催します。国内外で活躍する3組のアーティストが、光とインタラク션을テーマに、温泉の街・湯田の各所を、個性的な作品展示の場として展開するパブリックアートプロジェクトです。

メディアテクノロジーをつかった、普段見ることのできない斬新なコミュニケーションの発想をもとに、「ひと」と「まち」の新鮮な出会いをつくりだし、地元地域のより深い文化の成熟と発展につなげていくことを目指します。



観光客や市民でにぎわう温泉街でメディアアートを楽しんでいただけるよう、本展では、観客の動きに反応してLEDが空間全体を美しく変化させる作品や、観客が湯田の街を散策しながら、作品を完成させていくもの、足湯を舞台にした映像作品などを紹介します。中原中也記念館や湯田温泉の名所を訪ねながら、光や映像、ネットワークを駆使した最新のメディアアート作品に親しむことができます。「街そのもの」をひとつの表現メディアとしてとらえることによって、街の日常風景に新たな発見を与え、地域の魅力を引き出す、湯田温泉とYCAMが一体となって繰り広げるアートプロジェクトです。

.....

【出品作家】

ユナイテッド・ビジュアル・アーティスト (United Visual Artists) [イギリス]

exonemo (エキソニモ) [日本]

SHINCHIKA (シンチカ) [日本]

.....

■ オープニングイベント(展示作品に一齐に光りを灯す点灯式を開催します)
2008年11月21日(金) 17:30–

■ ウェブサイト：<http://yudaart.ycam.jp/> *9月16日(火)公開予定

主催：山口市・財団法人山口市文化振興財団 後援：山口市教育委員会 助成：文化庁 協力：湯田温泉まちづくり協議会にぎわいづくりサポート部会 企画制作：山口情報芸術センター[YCAM]

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ 広報担当：浅原・廣田

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216

e-mail: information@ycam.jp <http://www.ycam.jp/>



「YUDA ART PROJECT」では、YCAMとアーティストがアイデアを出し合い、湯田温泉の名所にあわせて特別に制作した新作を発表します。

アーティストは、構想段階において湯田温泉地区を訪れ、それぞれの作品が生み出す風景を想定し、展示会場を決定しました。街並みや温泉の魅力を活かし、山口・湯田温泉でしか見られないサイトスペシフィックな作品をご覧ください。

【湯田温泉】

山口の中心街に近く、自然の景観にもすぐれ、豊富な湯が湧き出る湯田の地は、魅力ある温泉街として親しまれています。室町時代には、傷ついた白狐がこのお湯につかり、傷を癒していたという伝説から「白狐の湯」としても知られています。また、湯田は、幕末に活躍した維新志士たちとゆかりの深い土地であるとともに、詩人・中原中也が生まれ育った場所としても有名です。

インタラクティブアート作品

ユナイテッド・ビジュアル・アーティスト

(United Visual Artists)

新作 (YCAM委嘱作品)
作品タイトル未定

会場：中原中也記念館(山口市湯田温泉1-11-21)



中原中也記念館の外庭全面に展開する英国アーティストの最新作

ロンドンを拠点に世界的に活躍する気鋭のアーティストグループ、ユナイテッド・ビジュアル・アーティスト(UVA)が本展にあわせて新作インスタレーションを制作します。湯田温泉地区の中心に位置する中原中也記念館の外庭全面を舞台に、観客の動きに呼応する光(LED)とサウンドを駆使したインタラクティブアート作品を発表します。

UVAは、U2など国際的に活躍するミュージシャンのライブやミュージックビデオのビジュアルデザインを担当し、独自の映像表現、造形設計で注目されています。また、今年1月には六本木ヒルズでも作品を展示。観客や周囲の環境に合わせて変化する完成度の高い作品が、世界各地で話題を呼んでいます。

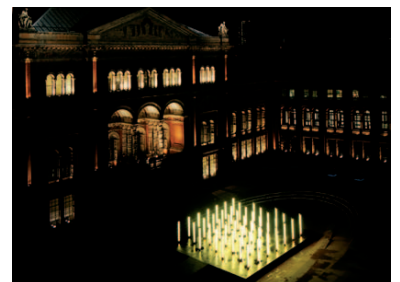
既成の概念をくつがえす革新的なビジュアル表現を続ける彼らが、中原中也記念館というパブリックスペースを舞台に、どのようなインスタレーションを展開するのか、ご期待ください。

United Visual Artists

(ユナイテッド・ビジュアル・アーティスト)

ソフトウェアデザインやアニメーション、インタラクティブデザイン、グラフィックデザインなどさまざまな専門性を持つ11人のメンバーで構成されるイギリスのアーティストグループ。2003年の結成以来、U2、マッシブ・アタックなどのステージでビジュアルデザインを担当し、光とテクノロジーをつかった表現で注目を集める。これまで、ヴィクトリア&アルバート美術館(ロンドン)やテート・モダン、大英図書館、六本木ヒルズ等で作品を発表。建築的なインスタレーション、ライブパフォーマンスやインタラクティブインスタレーションを手掛けている。SONYのPlay Station3のプロモーションとして発表された作品「Volume」をはじめ、さまざまなアーティストやオーガニゼーションとのコラボレーションも活発におこなっている。

<http://www.uva.co.uk/>



United Visual Artists "Volume"
(Victoria & Albert Museum, London 2006)
Photo: James Medcraft -United Visual Artists

インタラクティブアート作品

exonemo

改訂新作

「巡礼端末 - The Terminal for Pilgrimage」

会場：湯田温泉各所



exonemo "The Terminal for Pilgrimage"
(L'EXPERIENCE JAPONAISE, Nîmes 2007)

アート作品を探して 湯田温泉街を散策する

湯田温泉街数カ所に設置された、撮影とプリントができる特殊な端末(撮影ブース)で、参加者のオリジナルポートレートをつくり、湯田の街を散策しながら楽しめる作品。湯田温泉を訪れる観光客や市民は、本作をつかってユニークな記念写真を持ち帰ることができます。

参加者が各端末で撮影できるのは、顔写真と背景の断片のみ。すべての端末をめくり、1枚の紙に重ねてプリントすると、それぞれの断片がつながり、オリジナルポートレートが完成します。また、このポートレートはインターネットサーバに転送され、参加者それぞれのキャラクターを越えた「新しい街の顔」として、湯田温泉街中心地に設置された巨大スクリーンに会期中には每晚投影されます。(ポートレートを携帯電話やスクリーンセーバにダウンロードすることも可能。[予定])インターネットを介し、異なる時間と空間がクロスオーバーする「ひと／まち」、「ひと／ひと」の新しい出会いを、本作を通じて体験することができます。



exonemo (エキソニモ)

千房けん輔と赤岩やえによるアートユニット。1996年よりウェブ上でしか体験できない実験的プロジェクトを数多く手がける。2000年ロッテルダム映画祭の特別枠にて初のインスタレーション発表、以降ウェブと現実空間をつなぐ独自の作風にてイスタンブール・ビエンナーレ、六本木クロッシング、アルス・エレクトロニカ(オーストリア)など国内外の展覧会に多数参加。ポンビドー・センター(パリ)での自作楽器によるライブ公演や、“電気を変なことをする”世界的コミュニティー「ドークボット」東京支部の運営など、活動を多方面に拡張し続けている。2006年にアルス・エレクトロニカ/ネット部門にてグランプリ受賞。2008年スイス・バーゼルにて海外初の個展「UN-DEAD-LINK」開催。活動の拠点は東京と<http://exonemo.com/>。

映像インスタレーション作品

SHINCHIKA

新作 (YCAM委嘱作品)

作品タイトル未定

会場：湯田温泉足湯各所



湯田温泉足湯

新進アートユニットによる 足湯プロジェクト

観光客や市民が気軽に憩う湯田温泉街の足湯スペース。本作では、この足湯を舞台に、モニターやプロジェクションをつかった映像表現による新しいコミュニケーションの場を提案します。映像には、SHINCHIKAが作り出す「YUDA ART PROJECT」オリジナルのアニメキャラクターが登場。「まち」と「個人」との関わりをテーマに、フィクショナルなストーリーをこのキャラクターがナビゲーション、オリジナルのプロモーションムービーを展開します。2次元のイラストによる表現から3次元のCGまで、多彩なスタイルを融合させたユニークなアニメーションが、足湯をどのように一新させるのか、ご期待ください。

SHINCHIKA (シンチカ)

グラフィック・映像・作詞・作曲などを合わせて制作する娯楽ユニット。2002年大阪新世界にある、新世界国際地下劇場からインスピレーションを受け、久門剛史/藤野洋右/藤木倫史郎/吉川辰平/勝村富貴の5名により結成。メンバーそれぞれの記憶や住む場所、日々の営みの中からイメージの断片をつなぎ合わせて編集し、作品を制作。ファンタジーの中にSHINCHIKAの現在が反映された物語が展開される。2008年オオタファインアーツ(東京)にて個展。<http://www.eonet.ne.jp/~shinchika/>





山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

[開館時間] 10:00–20:00 (夜間イベントのある日は22時まで開館)
[休館日] 火曜日 (祝日の場合は翌日) / 年末年始 (12/29–1/3)
〒753-0075 山口県山口市 中園町7-7
Tel: 083-901-2222 Fax: 083-901-2216
<http://www.ycam.jp/>
information@ycam.jp



アクセス:

飛行機利用

[山口宇部空港まで]

・東京から1時間30分

[山口宇部空港から]

・乗合タクシー「空港エクスプレス」でYCAMまで 約1時間

(前日18:00までの予約制 大隅タクシー Tel: 0120-31-0860)

・空港連絡バスでJR新山口駅まで 20分

新幹線利用

[JR新山口駅まで新幹線のぞみで]

・東京から約4時間50分

・新大阪から約2時間10分

・広島から約35分

・博多から約40分

[JR新山口駅からYCAMまで]

・防長バス / JRバス 約30分、中園町下車すぐ

・JR山口線18分、湯田温泉駅下車 徒歩25分 / タクシー 5分

・JR山口駅21分、山口駅下車

徒歩25分 / バス10分 (中園町か済生会病院前下車) / タクシー 5分

自動車利用

・広島から 山陽自動車道で約1時間30分、防府東ICから30分

・福岡から 九州・中国自動車道で約2時間、小郡ICから25分